

キヨタノホタル



夏の夜を彩るホタルの幻想的な光。区役所裏の小さな池で見られることをご存知ですか？
清田区では、ふれあい街づくり事業の一つとして、清田区ホタルの会（田口^{たくち} 春男^{はるお}会長）と協力し、区役所周辺でホタルの生息環境づくりを進めています。
今月は、同会主催で十七日から開かれるホタルの観賞会と、その取り組みについてご紹介します。

見る

者の心を和らげる、ホタルが放つ優しい光。区役所裏の通称「ホタル池」で開かれる観賞会も、今年で五回目を迎え、昨年は延べ三千人も人が訪れました。初めて見る神秘的な光に、驚きと感動の声を上げる子どもたち。昔見た幻想的な風景を懐かしく思い出す大人たち。思い思いに「清田のホタル」を楽しむこの季節が、今年もまたやって来ました。

成中 となったホタルが輝くのは、ほんの数日間。その短い輝きの陰には、

▼多くの方が訪れた昨年の観賞会



多くの人たちの協力があるのです。

区内

にも、ハイケボタルがまだわずかに自然生息しています。この貴重な

環境を守り、子どもたちと家族が自然と親しむことができたら。そんな願いで、平成十年に結成されたのが「清田区ホタルの会」です。会員は現在約五十人。結成以来、ホタルの保護を通じて、環境保全を訴えています。

昨年の夏、区内に自然生息している成虫を採取し、その卵をふ化させ、自宅で一年かけて幼虫を飼育してきました。

子ども たちも協力していただきます。市立平岡小学校（赤坂^{あかか} 龍志^{たかし}校長）では、自然や命の大切さを学んでほ

しいと、三年前からホタルの幼虫の飼育に取り組んでいます。今年も同会から、小さな幼虫を分けてもらい、飼育委員が中心となって、大切に飼育。同会のメンバーも

感心するほどの、大きくて元気な幼虫に育て上げました。

▼ホタルの幼虫を飼育した平岡小学校の児童たち



区で

は、ホタルが生育できる環境をつくることで、自然を身近に感じてもらおうと、ホタル池の整備を進めています。

六月

四日、「元気でね」「早く大きくなつてね」と子どもたちに声を掛けられながら、ホタル池に二千匹の幼虫が放流されました。これからの約一カ月間、幼虫は土の繭を作り、その中でさなぎになります。そして、じつと成虫になるのを待ちます。

聞き

なく始まる観賞会（詳細は区民のページ2ページ）。ほかの一般的な観賞会とは違い、ここでは、直接ホタルに触れることができます。

「自分の手にホタルを乗せたときに見せる、子どもたちの笑顔。それが何よりもうれしい」と同会副会長の森田^{もりた}義男^{よしお}さん。「もつと多くの子どもたちがホタルに触れて、興味を持ってほしい。そして、協力の輪が広がるといいですね」と語ってくれました。
夏の夜のひととき、身近な自然を感じに、ホタルに会いに来てみませんか。

